

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業  
**実施報告書【課題実践校用】**

学校番号	17
学校名	富山県立富山商業高等学校

学校の現状と課題	本校では、 <b>グランドデザイン</b> (富商ブランド)をAKB(あき人(びと))(A「挨拶」K「検定」B「部活動」)で育てAKB(あき人(びと))(A「愛され信頼される人間力」K「課題解決力」B「ビジネスの理解力と実践力」)で送り出すとして、目指す人物像を明確にしている。 本校が目指す「地域社会に貢献できる職業人」を育成するには、生徒の人的な成長を助け、勤労観や職業観を涵養するとともに、課題解決力、ビジネスの理解力と実践力、社会人基礎力(前に踏み出す力、考え抜く力、コミュニケーション力)を育成するための教育活動の充実を図る必要がある。	
テーマ(特色)	地域連携教育の推進を通して、課題解決力とビジネスの理解力と実践力を育成する。	
設定した「テーマ」の達成状況	教科指導と検定指導などを通して、ビジネスに対する知識、実践力や課題解決力を養うことができた。大学と連携することで、スポーツをビジネスとして捉えることができるようになった。地元である富山県を拠点としているプロスポーツチームを通して、地域活性化や地元愛の涵養、CSVの確立を目指すビジネスモデル及びこれらの目標を達成できるイベント案の企画してきた。令和4年2月に企業様の協力のもと、企画したイベントを実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染が拡大したため、実施するに至らなかった。	
実施内容 (具体的に記入する)	大学・企業との連携による課題解決学習・ケーススタディ学習(マーケティング) カタレ富山様及び富山グラウジーズ様の協力のもと、イベント経営の実情を知るために現地を視察。(観戦者調査、イベント内容の把握及び体験) 体験した内容をもとに課題に対する仮説を設定し、課題解決を達成できるイベント案を考察。 富山グラウジーズの場合、富山市総合体育館でのイベント内容だけをデザインするのではなく、SNSでの情報発信や、富山駅前周辺を巻き込んだイベント等についても構想した。 流通経済科課題研究発表にて取り組んだ内容を発表。	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	ビジネスが地域に与える影響やスポーツビジネスに関する具体例などを学ぶことで知識を身につけることができた。しかし、本来であれば、1月に企業様より、社会貢献や地域活性化を目指した実例、プロスポーツビジネスの在り方などを学び、2月には企業様と協力して高校生が考えたイベントを実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大により、実施に至らなかった。ビジネスに対する理解力と企画の考察で留まってしまうため、来年度は観戦者調査をはじめ、今までに習ったマーケティング等の知識を生かして、より洗練された企画を実施できるようにしていきたい。	
対象者(学年・人数など)	流通経済科 3年生 24名(課題研究 スポーツマネジメントに関する研究)	
実施 実績	4月	
	5月	
	6月	「スポーツマネジメントを事例とした課題解決学習」①
	7月	経済団体との連携のキャリアガイダンス①
	8月	
	9月	「スポーツマネジメントを事例とした課題解決学習」②
	10月	大学・企業との連携による課題解決学習・ケーススタディ学習①
	11月	大学・企業との連携による課題解決学習・ケーススタディ学習②
	12月	「スポーツマネジメントを事例とした課題解決学習」③
	1月	「スポーツマネジメントを事例とした課題解決学習」④
	2月	「スポーツマネジメントを事例とした課題解決学習」⑤
	3月	